



機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管
高度管理医療機器 心臓・中心循環系用カテーテルガイドワイヤ 35094114

MS/MT/MV ガイドワイヤー (アンプラッツ スーパースティッフ ガイドワイヤー)

再使用禁止

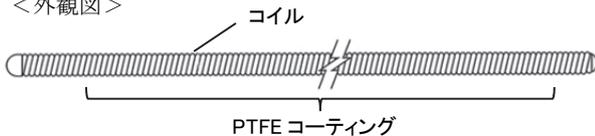
【禁忌・禁止】

1.使用方法
再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

MS/MT/MV ガイドワイヤー(又はアンプラッツ スーパースティッフ ガイドワイヤー(以下、本品という))は、診断又はインターベンション手技においてカテーテルの導入及び交換に使用されるガイドワイヤで、目標血管等の選択を容易にする。先端はフレキシブルであるが、プロキシマルシャフトの硬度が高いスプリングコイルタイプの血管用ガイドワイヤで、屈曲蛇行の強い血管やバルブプロラスティエーに適している。ポリテトラフルオロエチレンコーティングされており、先端形状にはストレート型とJ型がある。

** <外観図>



<主な原材料>

ステンレススチール、ポリテトラフルオロエチレン

【使用目的又は効果】

本品は、診断又はインターベンション手技においてカテーテルの導入及び交換に用いる。

本品は、冠状動脈に用いることを意図していない。

【使用方法等】

1.使用前の準備

使用前に本品と滅菌包装が輸送中に損傷を受けていないことを詳細に点検する。

2.使用方法

- 併用するカテーテルの添付文書又は取扱説明書等に従って、カテーテルを点検し準備する。使用するカテーテルを生理食塩液でフラッシュする。
- ガイドワイヤイントロデューサを活栓又はガイドワイヤポートへ挿入する。ガイドワイヤの先端をイントロデューサ及びカテーテルのガイドワイヤルーメンを通して注意深く進める。イントロデューサをガイドワイヤ上で引き抜いて取り外す。
- 遠位端が正しい血管腔内にあることを確実にするために、高性能のエックス線透視で本品の位置を確認すること。
- ガイドワイヤの上にカテーテルを通す間、ガイドワイヤを一定の位置に保つこと。

<使用方法等に関連する使用上の注意>

- 本品の先端は再成形できるようには設計されていない。先端を再成形すると本品が破損するおそれがある。

- 使用前にあらゆる抵抗感についてガイドワイヤシステムをテストすること。
- 血管内での本品の動きに注意を払うこと。ワイヤは常にゆっくりと進めたり引いたりすること。抵抗感がある場合には、本品を進めたり回転を加えたり、または引いたりしないこと。抵抗を触覚的に感じたり、エックス線透視の際の先端部の歪みによって気づくことがある。
- 血管内でカテーテルに本品を再挿入する際、カテーテル先端がルーメン内で自由になっていること(すなわち、血管壁に密着していないこと)を確認すること。
- 本品を前進または抜去する時は、解像度の高いエックス線透視装置を使用すること。[これを怠ると、誤留置、解離、または穿孔を引き起こすことがある。]
- 本品の先端が極度に曲がっている場合、前進させないこと。ねじったり、過度の力を加えないこと。過度の力によって、コア部分がコイル部分を貫通し、血管を損傷する可能性がある。
- コーティング又はPTFEスリーブの破損及びせん断を避けるため、金属製カニューレを通して引き抜いたり操作したりしないこと。
- 抵抗が感じられた場合には、適切な処置を講じるまでは、本製品を進めないこと。過度の力で進めると、ガイドワイヤの先端部の分離、カテーテルの損傷又は血管の損傷を引き起こすことがある。
- ステント留置後、ガイドワイヤを押し進める場合は注意を払うこと。[血管壁に完全に圧着していないステントにガイドワイヤを再び通すと、ステントストラット間からガイドワイヤが飛び出してしまう可能性がある。この場合、ガイドワイヤ上でデバイス(いかなる種類のものでも)を進め続けると、ガイドワイヤとステントとの間にもつれが生じることがある。]
- 一度引き抜いたJチップガイドワイヤは、体内で前進させることによってまっすぐにしようとしないうこと。
- 本品のコイルが分離した場合、コアガイドワイヤを引き抜かないこと。コイルとコアガイドワイヤを同時に慎重に抜去すること。
- 偶発的な破損、曲がり、ねじれ又はコイルの分離の発生を避けるために、処置中、本製品の取り扱いに注意すること。本製品が破損すると、追加の経皮的インターベンションや外科的処置が必要となる可能性がある。
- コア可動型ガイドワイヤ(本品に含まれない)の使用時、ガイドワイヤコイルを挿入させるコアの動きに合わせてワイヤがねじれ、血管を損傷することがある。内部で過剰な抵抗を感じた時には、コアワイヤを無理に進めないことを強く推奨する。

【使用上の注意】

1.重要な基本的注意

- ** (1) 抗凝固療法禁忌の患者においては、リスクと有効性を十分に考慮すること。

- ** (2) 造影剤アレルギーの患者においては、リスクと有効性を十分に考慮すること。
- (3) 本品は繊細な器具であるので注意深く取り扱うこと。使用前及び使用中にも、本品にコイルの分離、屈曲やねじれがないかを注意深く調べ、先端が破損しているワイヤーは使用しないこと。破損がある場合、追加の措置が必要になることがある。

2.不具合・有害事象

本品の使用によって、以下の不具合・有害事象が起り得る。

重大な不具合

- (1) ガイドワイヤの破損

その他の不具合

- (1) ガイドワイヤのエントラップメント、もつれ
(2) 異物

重大な有害事象

- (1) 死亡
(2) 脳卒中(CVA)/一過性脳虚血発作(TIA)
(3) 心筋虚血又は梗塞
(4) 仮性動脈瘤
(5) 血管の解離、穿孔、外傷又は損傷
(6) 血管攣縮
(7) 空気塞栓症、血栓塞栓症
(8) 塞栓
(9) 血栓
(10) 四肢切断

その他の有害事象

- (1) 動静脈瘻
(2) 血管閉塞
(3) 出血
(4) 血腫
(5) 敗血症/感染症
(6) アレルギー反応
(7) ヘモグロビン尿症

【保管方法及び有効期間等】

1.保管方法

高温、多湿、直射日光を避けて保管すること。

2.有効期間

3年[自己認証による]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

- * 製造販売業者：
ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
電話番号:03-6853-1000
- ** 製造業者：
米国 ボストン・サイエンティフィック コーポレーション
[BOSTON SCIENTIFIC CORPORATION]